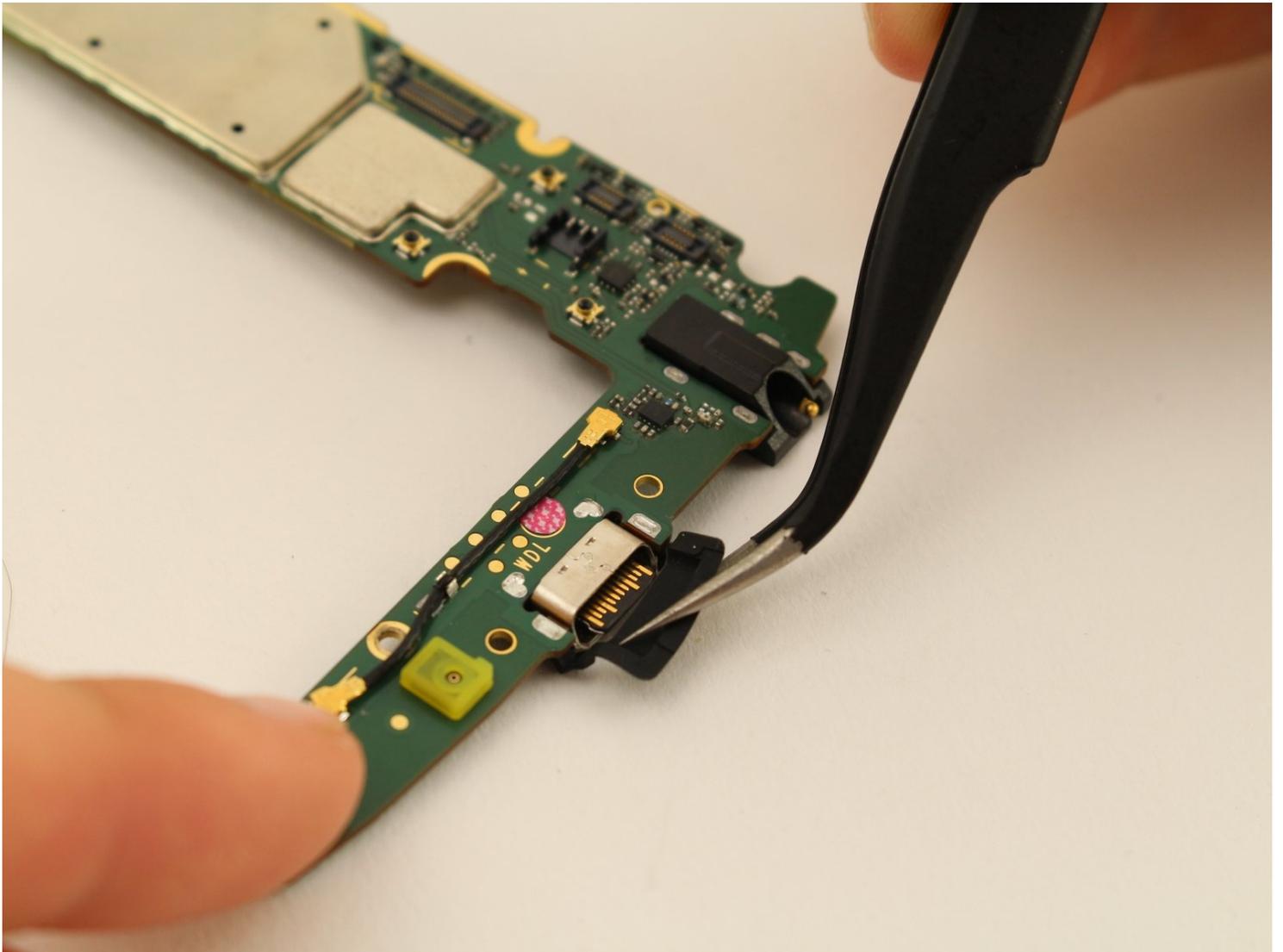




Motorola Moto G6 充電ポートの交換

Motorola Moto G6は、USB-C充電ポートを搭載しています。...

作成者: Bradley Samuel



はじめに

Motorola Moto G6は、USB-C充電ポートを搭載しています。充電ポートにより、外部電源を通じてバッテリーを再充電できます。充電ポートが損傷している場合、それは損傷したバッテリー、または充電できないデバイスにつながる可能性があります。その場合、充電ポートの交換が必要になります。

このガイドでは、充電ポートの交換方法について説明します。修理の経験は必要ありませんが、この作業はバックシェルをこじ開け、デバイス内のプレートのネジを外し、内部パーツを取り出し、デバイスの内部をはんだ付けするためのツールが必要です。このガイドの特定のデバイスモデルはXT1925-12です。その他のモデル番号には、XT1925-4、XT1925-5、XT1925-6、およびXT1925DLがあります。

作業を始める前に、[Rescue and Smart Assistant](#)アプリをダウンロードしてデバイスをバックアップし、問題がソフトウェアに関連するものかハードウェアに関連するものかを診断してください。

修理を始める前に、デバイスの電源がオフになっていて、外部電源から切断されていることを確認してください。下記の推奨ツールと新しい交換用Motorola Moto G6充電ポートを用意してください。

ツール:

- スパッジャー (1)
- ハンドル付き吸盤 (1)
- #000 プラスドライバー (1)
- ピンセット (1)
- iFixit開口用ピック(6枚セット) (1)
- iOpener (1)
- 半田付けステーション (1)

部品:

- プレカット接着カード (1)
-

手順 1 — リアガラスを外します



⚠ 作業を始める前に、電源を切ってください。

- できれば解体前に、バッテリーを放電してください。バッテリーが充電されていると、バッテリーがオーバーヒートしたり、作業中に誤ってダメージを与えてしまうと危険な発火事故を起こすリスクが高まります。

① リアガラスに亀裂が入っている場合は、梱包用テープで表面を覆ってください。ガラスが飛散することによる怪我を防ぐためです。

- iOpenerを準備して、デバイス端に沿って約2分間温めます。熱くて触れない程度まで温まると、リアガラスを固定している接着剤が柔らかくなっています。

① 接着剤を十分に柔らかくするには、iOpenerを複数回に渡って温めて、作業を繰り返す必要があります。オーバーヒートを防ぐため、iOpenerの使用方法を参照してください。

⚠ ヘアードライヤー、ヒートガンやホットプレートでも対応できますが、デバイスのオーバーヒートにはご注意ください。ディスプレイと内蔵バッテリーは、ヒートダメージを受けやすいです。

手順 2



- 吸盤カップをリアガラスの下側端に取り付けます。
- 吸盤カップをしっかりと、一定の力で引き上げ、フレームとリアガラスの間にわずかな隙間を作ります。
 - ① ガラスに亀裂が入っている場合は、吸盤カップが上手く装着しません。[ガムテープを使って持ち上げてください](#)。もしくは吸盤カップに強力ボンドをつけて、スクリーンに固定してから作業を続けてください。
 - ① この作業にはかなりの力が必要です。しかし吸盤カップでツールを差し込めるだけのわずかな隙間を作るだけで十分です。
- 作業が上手く進まない場合は、接着剤をさらに柔らかくするためにさらに温めてから作業を続けてください。接着剤はすぐに冷却して硬くなります。そのため何度も温めなければなりません。
- 開口ピックをリアガラスの下にできた隙間に差し込みます。

手順 3



- デバイス下側端に沿ってピックをスライドして、リアガラスを固定している接着剤を切開します。

⚠ コーナー周辺の作業では慎重にゆっくりと切開してください。ピックがカーブしたガラスを押し上げると、左右の端に沿ってガラスの湾曲した部分がいとも簡単に割れてしまいます。

- ① 切開が終わると、冷えて固くなった接着剤が再装着してしまうことがあります。これを防ぐために、ピックをコーナーに残しておきます。それから次の手順に移ってください。同じように四隅にピックをその場に残します。

手順 4



- 接着剤を温めて柔らかくするため、デバイス裏側の右側端を温めます。

手順 5



- リアガラス右端に沿って開口ピックをスライドして、下に付けられた接着剤を切開します。

手順 6



- リアガラスの接着剤を弱めるため、デバイス裏側の上部端を温めます。

手順 7



- デバイス上部端に沿って開口ピックをスライドして、リアガラスを固定している接着剤を切開します。

⚠ コーナー周辺をスライドする際は慎重に、ゆっくりと作業を進めてください。ピックがカーブしたガラスを押し上げると、左右に沿ってガラスの湾曲した部分が簡単に割れてしまいます。

手順 8



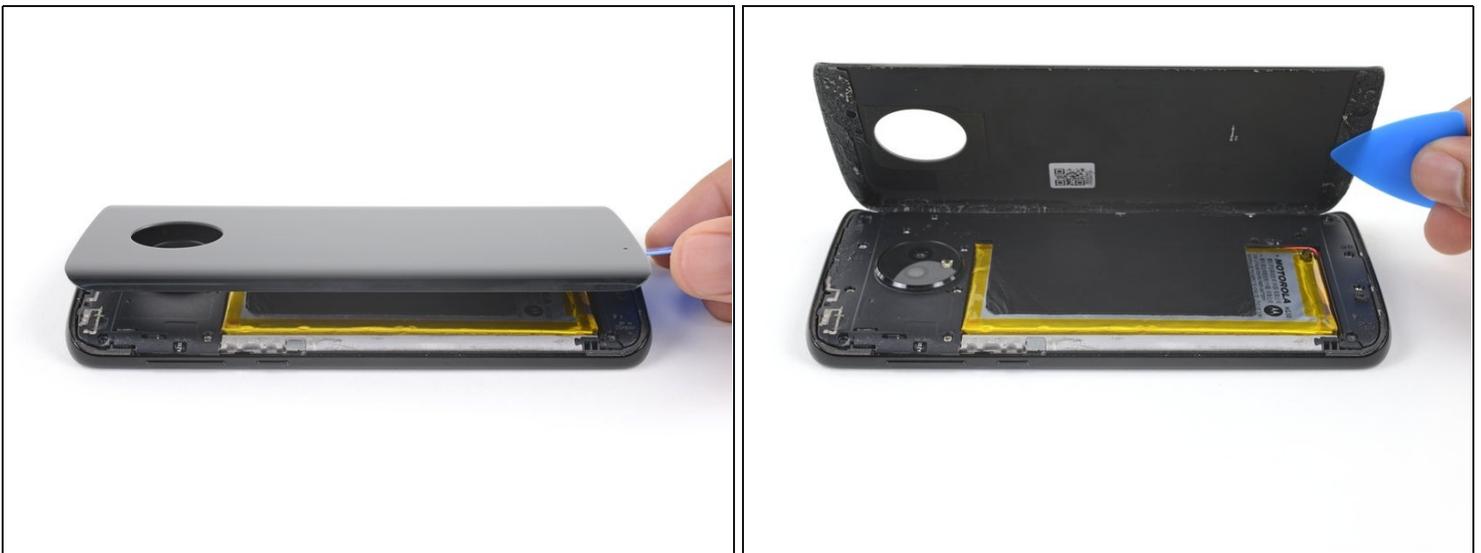
- デバイス背面の左側端を温めて、下の接着剤を柔らかくします。

手順 9



- ピックをデバイス左側端に沿ってスライドし、リアガラスの接着剤を切開します。

手順 10



- ガラスが接着剤で外れない場合は、再度温めて、接着剤を柔らかくする作業を繰り返してください。
- リアガラスを慎重に持ち上げます。接着剤が完全に剥がれていることを確認してください。
- リアガラスを外します。
- ☑ 再組み立ての際は、ここで作業を一旦中断して、カット済みの接着剤カードまたは[Tesa 61395](#)などの高強度両面接着テープを使用して、[リアガラスの接着剤を交換](#)します。
- ☑ 再組み立て中のデバイスを密封した後は、教科書や厚みのある本を数冊、デバイスの上に30～60分間積み重ねます。これにより強力な接着が保証されます。

手順 11 — バッテリーのテープを剥がします。



- ピンセットを使って、バッテリーを覆っている黒いテープを慎重に剥がします。
- テープを外します。
 - ① 可能であれば、テープをそのまま残しておきます。再組み立ての際に再利用できます。

手順 12 — プラスチックカバーを外します。



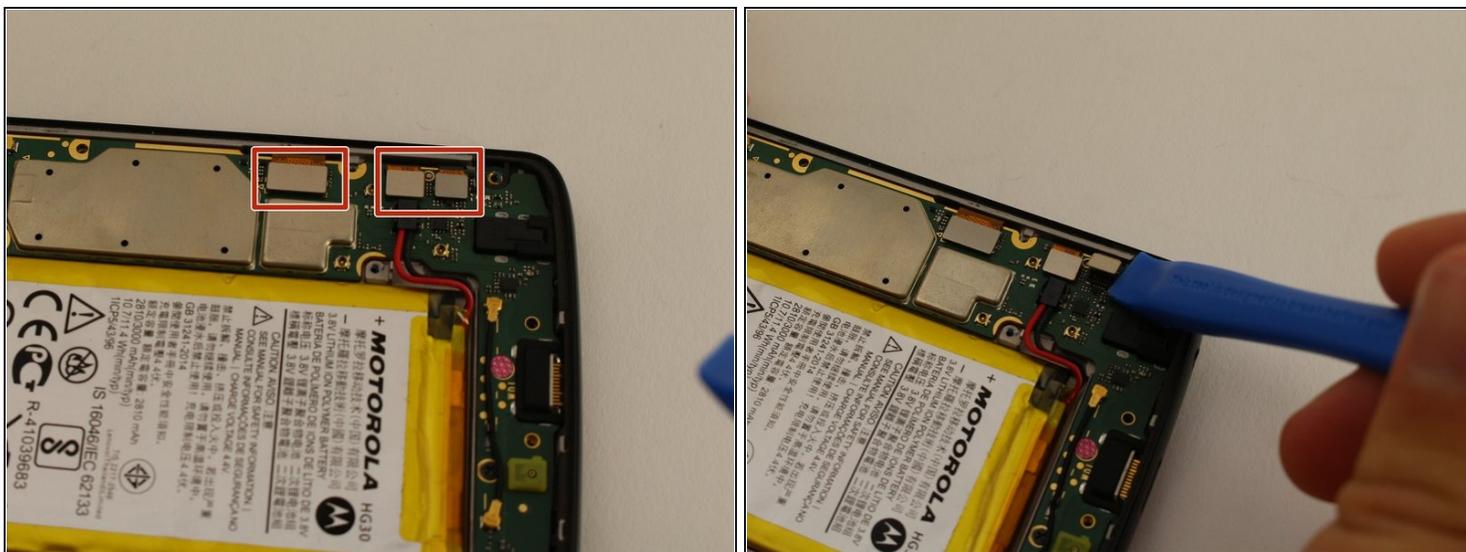
- プラスドライバーを使って、プラスチックカバーを覆っている17本のネジを外します。
 - グレーの3mm長ネジ-11本
 - 黒の2.5mm長ネジ-5本
 - シルバーの3.5mm長ネジ-1本

手順 13



- スパッツァーの先端をプラスチックカバーの左端上部の凹みに差し込みます。
- スパッツァーを使ってカバーの上部端を持ち上げて、カバーを固定しているクリップを外します。
- プラスチックカバーを外します。

手順 14 — マザーボード



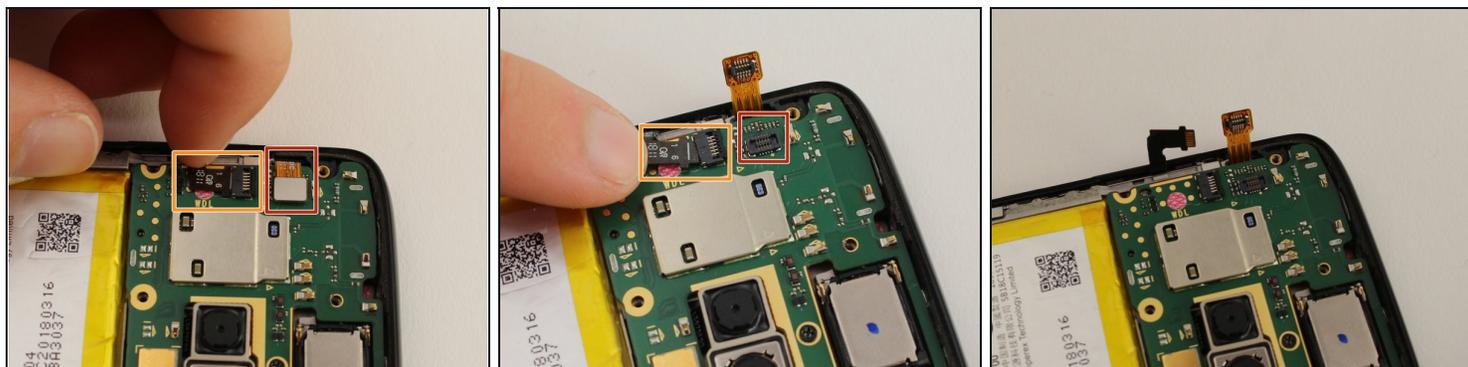
- iFixitの開口ツールを使って、マザーボードの右下コーナーにあるプレスフィット型コネクタを3つ持ち上げます。

手順 15



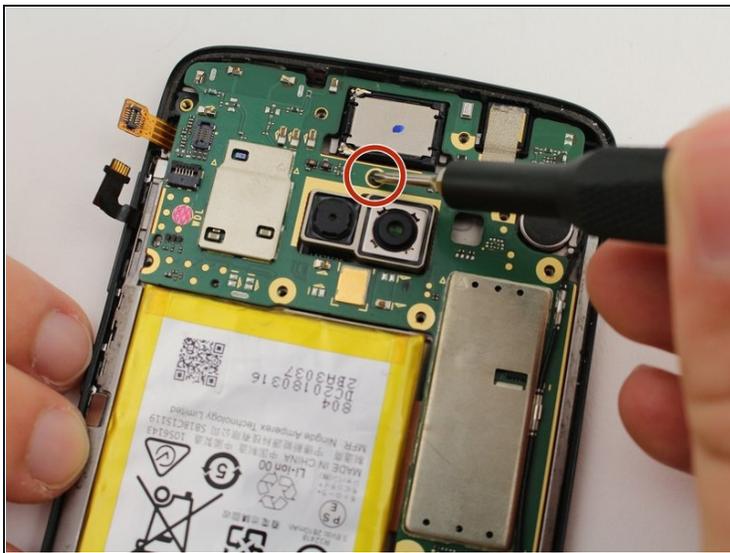
- ピンセットを使って、バッテリーコネクタを引き上げて、マザーボードのポートから取り出します。
- ☑ 作業を続ける前に、3番目の画像から確認できるようにデバイス上の4つのコネクタの接続が全て外れているか点検してください。

手順 16



- 開口ツールを使ってマザーボードの左上のプレスフィット型接続の接続を外します。前の手順と類似しています。
- 指先もしくはピンセットを使って、オレンジのボックス内のコネクタを引き抜きます。他のコネクタと違い、このコネクタはデバイスから持ち上げるのではなく引き下ろすタイプです。

手順 17



- マザーボードから2.7mmネジを2本外します。

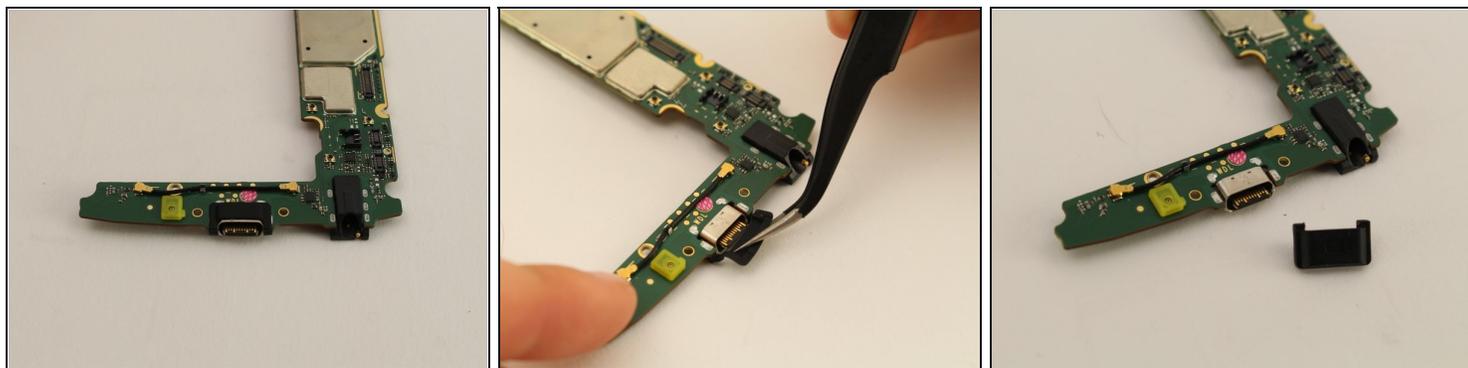
手順 18



- マザーボードを取り出します。

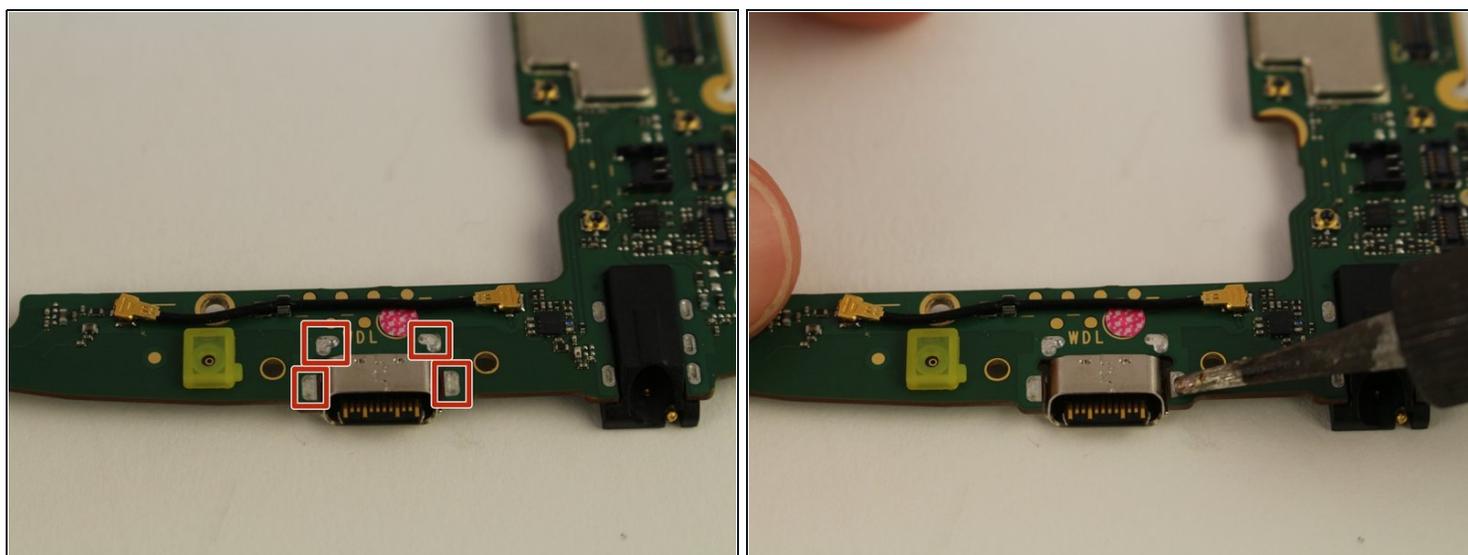
- ☑ デバイスを再組み立てする際は、全てのコネクタの下にマザーボードを配置して、カメラとマークされた赤いパーツが所定の位置にあることを確認してください。

手順 19 — 充電ポート



- 充電ポート周辺の黒いゴム製カバーをピンセットで摘んで外します。

手順 20



- ポートを固定している4本のピンを、慎重にはんだ除去します。
- ポートを回路基板に接続しているピンコネクタを慎重にはんだ除去します。

① 半田付けのアシスタントは、この[半田付けガイド](#)を参照してください。

デバイスを再組立する際は、これらのインストラクションを逆の順番に従って作業を進めてください。